



えがお がっこう 笑顔いっぱいの学校にしよう



笑顔いっぱいの6年生

12月4日から10日まで人権週間です。「大切な自分」を守るため、「大切な仲間」を守るため、思いやりのある、いじめのない学校にしよう。6年生がいじめについての標語を作りました。それをもとに、みんなでいじめについて考え、乙川小学校をいじめのない笑顔いっぱいの学校にしよう。

悪口は 相手の人を 傷つける けんかでも 1対多数は いじめだよ

つつい人々の悪口を言ったり、悪口のつもりはないけど人のいやがることを言ったりやってしまったことがありますね。それで、けんかになってしまうこともあるでしょう。でも大勢で一人をせめるのは、いじめですよ。傷つける言葉より思いやりの言葉を大切にしよう。

つらい 苦しい もう死にたい いじめられたらそう思う

いやな思いをしたことは誰にでもあると思います。いじめられている人の気持ちを考えてみよう。自分が同じようにいやなことを言われたりされたりしたら、どんな気持ちになるでしょう。

ネットでも イジメはイジメ よくないよ

スマホやゲーム機で友だちとつながるのは楽しいですね。でも、ネットで書き込んだことが友だちを傷つけることがありますよ。冗談で書いたことも、相手は傷ついてしまうこともあるから気をつけよう。

見て見ぬふり それも絶対 いじめだよ

誰かがいじめられているのを見たことがありますか。乙川小の子は、いじめはいけないってわかっているはず。いじめを見ても、無視しているのは、いじめているのと同じだよという標語です。自分で注意できなければ、先生に教えてください。見て見ぬふりは、やめましょう。

いじめっこ まわりからの目 気づいてる？

いじめをしている子、先生から注意されても繰り返してしまう子、みんながあなたのことをどう思うでしょう。そんなことをしていると、友だちがいなくなっちゃうよ。

周りの人に やさしくせって 歩んでいこう 保とうよ 今の関係 この笑顔 人生は 一度しかない 楽しもう

学校の新しい生活様式 12月3日版

12月3日に文部科学省から「学校の新しい生活様式」の最新マニュアルが発表されました。この中には、小学生は大人に比べて感染することが少なく、感染しても重い病気になることも少ないというデータも示されました。しかし小学生が新型コロナウイルスに感染しないということではありません。これまで通り、三密を避けることや、マスクの着用などの感染予防が必要なことには変わりありません。

これから本格的な冬のシーズンを前に、換気の大切さが強調されています。乙川小でも授業中も必ずどこかの窓を開けて換気をしています。休み時間には、さらに大きく窓を開けて空気の入れ換えをする必要がありますね。

冬はインフルエンザの流行時期とも重なります。

子どもたちが教室にいないときに、教室の温湿度計を見てみました。右の写真です。インフルエンザは、温度20度以上、湿度50～60%で空気中での感染力が下がるという研究結果があります。温度も湿度ももう少し上げる必要があります。



加湿器

そこで加湿器を購入し、各教室に置きました。エアコンと併用しながら、温度や湿度を調整したいと思います。

この冬は、エアコンをつけているときも、換気のため窓は開けることになります。これまで、室内では防寒着は脱いでいましたが、室内でも防寒着を着るなど、個人での調節も必要となります。教室の温度を見ながら、先生が指示を出します。

寒さにもコロナにもインフルエンザにも負けず、元気に冬を乗り越えよう。



おっかわいいね ♥

12月に走るのは?の巻

